



新水前寺駅に飾ってあるんです。交通安全ポスター!!

教育委員会の村上陽明指導主事
からのお知らせです!

新5年生が、4年生の時に描いた
ポスターが飾ってあるそうです!
見に行ってください!!



暑くなりました! 交通事故と水の事故に気を付けよう!

楽しい連休にするためにもルールを守って、安全第一!
自転車は安全運転! 川や池、海も用心しましょうね!!

*フッ化物洗口(虫歯予防)

*家庭教育学級(お友達を増やしましょう)

申し込み受付中!



声に出して読みたい日本語：日本語好きだ検！

お待たせしました。今年も始めます！



休み時間
校長室で待ってます！

熊本市立
白山小
合格

覚えて、暗唱できたら
この 特注スタンプ を
押しますよ！

あんしょう にほんご す けん
暗唱 日本語好きだ検

1


ただし **い** ことばづかいとは？

- ・おはようございます ごめんなさい
- ・ありがとう お先にどうぞ いっしょにあそぼう

↓

・ふわふわ言葉 (いわれて **うれしい**)

・**くん、さん**



2


*

ただし **い** ことばづかいは…

- ・そのうち できるようになる？ 
- ・しぜんに「おはようございます」「ありがとうございます」といえる **カ**

↓

まいにちの **つみかさね**




3

*

なぜあんしょう？ 人の きおくりよくは？

- ・0～3さいを **ピーク**に
- ・7～8さいころ **まで**が
- いちばん **のびる**。




- ・ただし **い**ことばや **うつくしい**ことばを
- くりかえす** → **のう**がそだつ

4

どれからでも **いい**です

おぼえたら



にほんご **すき**だけんを **もって**

こうちようしつへ

5

あいだを **あけて** **ならび**ます



6

いんかんを **もら**ったら

めいほに**○**をつける




1にち

1はんこ

7

*

ひと **と** **もの**と

ことば **を** **大切**に

たいせつ

8

こども **も** **職員**も、**楽しく**

えがお

笑顔あふれる

はくざんしょうがっこう

白山小学校



9



「教室は間違うところだ」 今朝の熊日新聞から

蒔田晋治さんの「教室はまちがうところだ」という詩が紹介されています。昭和の時代、初めて勤務した学校のすべての教室に掲示してあったのを思い出しました。

この詩では「教室は間違っている場所だ」と言っています。意見を言えないのは正しい答えを言わないといけないと思っているからで、うまく言えなくても、間違えても、何度も繰り返すうちに言えるようになります。何も言わず人前で話す練習をしなかったら、言えないままです。

最初は失敗しながらでも恐れずに話していけば、意見を言えるようになります。ばかにしたり、批判したりする人の前で意見を言うのは誰だって嫌です。どんな意見にも批判や否定をしないで、温かくうなずきながら聞いてくれる安心感のある場なら、話すことは恐くありません。

安心できる中で意見が活発に出るようになると、人の意見を尊重し、人の良い所に気付くようになります。そうすると、お互い大切にしたい人間関係ができます。

互いに学び合い、伸ばし合いのできる温かい環境を作っていきたいものです。

～次のページに 全文掲載します。～



もちろん
校長室の本棚
にもあります

教室はまちがうところだ

みんなどしどし 手をあげて

まちがった意見を いおうじゃないか

まちがった答えを いおうじゃないか

まちがうことを おそれちゃいけない

まちがったものを わらっちゃいけない

まちがった意見を まちがった答えを

ああじゃないか こうじゃないかと

みんなで出しあい 言いあうなかでだ

ほんとのものを 見つけていくのだ

そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しく まちがいのない

答えをしなくちゃ ならんと思つて

そういうとこだと 思つているから

まちがうことが こわくてこわくて

手もあげないで 小さくなって

だまりこくつて 時間がすぎる

しかたがないから 先生だけが

勝手にしやべつて 生徒はうわのそら

それじゃちつとも 伸びてはいけない

神様でさえ まちがう世の中

ましてこれから 人間になろうと

しているぼくらが まちがったつて

なにおおかしい あたりまえじゃないか

うつむき うつむき

そうつとあげた手 はじめてあげた手

先生がさした

ドキリと胸が 大きく鳴つて

どつきどつきと 体が燃えて

立ったとたんに 忘れてしまった

なんだかぼそぼそ しやべつたけれども

なにを言ったか ちんぷんかんぷん

私はコトリと すわつてしまった

体がすうつと すずしくなつて

ああ言やあよかつた こう言やあよかつた

あとでいいこと うかんでくるのに

それでいいのだ いくどもいくども

おんなじことを くりかえすうちに

それからだんだん ドキリがやんで

言いたいことが 言えてくるのだ

はじめからうまいこと 言えるはずないんだ

はじめから答えが あたるはずないんだ

なんどもなんども 言つてるうちに

まちがううちに

言いたいことの 半分くらいは

どうやらこうやら 言えてくるのだ

そうしてたまには 答えもあたる

まちがいだらけの ぼくらの教室

おそれちゃいけない ワラっちゃいけない

安心して 手をあげる

安心して まちがえや

まちがったつて ワラつたり

ばかにしたり おこつたり

そんなものは おりやあせん

まちがったつて だれかがよ

なおしてくれるし 教えてくれる

困つたときには 先生が

ないチエしぼつて 教えるで

そんな教室 つくろうやあ

おまえへんだと 言われたつて

あんたちがうと 言われたつて

そう思う だからしょうがない

だれかがかりにも ワラつたら

まちがうことが なぜわるい

まちがつてること わかればよ

人が言おうが 言うまいが

おらあ自分で あらためる

わからなけりやあ そのかわり

だれが言おうと こづこうと

おらあ根性 まげねえだ

そんな教室 つくろうやあ